



# News Letter

No.23

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

平成 28 年 3 月 31 日 発行

## 【本号のトピックス】

第27回学術大会案内／委員会だより(規程, 倫理審査)／支部だより(東海3県合同支部講演会報告)／支部セミナー案内／学会だより



## 一般社団法人日本老年歯科医学会第 27 回学術大会のご案内

～徳島にぜひご参集ください～

第 27 回大会準備委員長 永尾 寛

平成 28 年 6 月 18 日 (土), 19 日 (日) の 2 日間, 私ども (大会長市川哲雄, 徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野) の担当で, 第 27 回総会・学術大会をアスティとくしま (徳島県立産業観光交流センター) にて開催させていただくことになりました。

本大会は, 高齢者のさまざまな問題を解決する切り札は口腔からのアプローチだということで, テーマを「口腔から超高齢社会の明るい未来を切り開くー口腔が果たす役割の再確認と啓発ー」としています。

特別講演では, 椿原彰夫先生 (川崎医療福祉大学学長) に摂食嚥下の機能とその障害について解説していただきます。また, 教育講演では, 中屋 豊先生 (徳島大学名誉教授) に高齢者の栄養に関するご講演をお願いしております。徳島県は過疎県ですが, 裏返せば「高齢化先進県」です。特別企画として, 高齢者が生き生きと働く葉っぱビジネスの上勝町より横石知二先生 (株式会社いろどり取締役 徳島大学客員教授) をお招きし, 超高齢集落でインターネットを使いこなす高齢者の生き生きとしたビジネスライフについてご講演いただく予定です。もう一つの特別企画は, 厚生労働省と経済産業省による機器開発に関する講演です。その他, シンポジウム (2 企画), 歯科衛生士シンポジウム, 公募制の若手ミニシンポジウム (2 企画), 日・台老年歯科医学会合同シンポジウム, 入門セミナー (4 企画), ハンズオンセミナー (2 企画), 歯科衛生士関連委員会主催セミナー (講義編, 演習編) と盛り



沢山の企画を準備しております。

また, 6 月 18 日 (土) 18:00 より, 学会場のアスティとくしまにて懇親会を予定しております。アトラクションとして, 徳島で最も有名な「娯茶平」による阿波踊りを用意しております。徳島の美味しい郷土料理を味わっていただき, 「見る阿呆」, 「踊る阿呆」になっていただきたいと思っております。参加人数に限りがございますので, 事前の参加登録をお願い致します。

なお, 大会の事前参加登録は 5 月 13 日 (金) までとなっております。大会ホームページより参加登録のお手続きをお願い致します。

(<http://web.apollon.nta.co.jp/gero27/index.html>)

多数のご参加をお待ちしております。

## 委員会だより

### 規程委員会

委員長 又賀 泉  
委員 松村英雄(副委員長), 玄 景華, 佐藤裕二  
(幹事: 北原和樹)

日本老年歯科医学会規程委員会は委員長: 又賀 泉, 副委員長: 松村英雄, 委員: 玄 景華, 佐藤裕二および幹事: 北原和樹で構成されています。活動としては、各種委員会から提出される規程の改正案や細則の追加申請などを本委員会にて内容および用語の確認訂正をし、その結果に基づいて理事会に提出しています。

最近、平成 27 年 11 月 26 日に行われましたメール会議では、1) 優秀ポスター賞選考内規の改正、2) 平成 27 年度認定医試験 認定者の追加承認について、3) 認定医研修機関の申請・登録変更について、4) 専門医研修機関の申請・登録変更について、5) 平成 27 年度 第 2 回認定医および認定医制度指導医の更新承認について訂正の提案がありました。これらの案件は、即時対応が必要なものは理事会承認を得て活動し、規程として修正が必要なものは順次理事会を経て総会で承認をいただく流れになっています。また、平成 28 年 1 月 26 日八重洲倶楽部にて理事長ご同席の上、本委員会が開催されました。

本学会には現在、複数の規約や規程がありますが、これらを再分類してわかりやすく再整理する必要があるということで、この委員会で討議され、用語も含めて項目ごとに活発な確認が行われました。委員会終了後事務局の協力をいただき、ほぼ目的の再整備が行われ、その結果はメールによる規程委員会会議で検討され、さらに再整理された規程集として、今後理事会を経て平成 28 年 3 月 23 日開催の法人運営委員会において再度確認をいただいた後、6 月 17 日徳島で開催予定の理事会において承認をいただき会員に公開される予定となっています。ただし今回の本案件に新たな規程および規約の制定はなく、過去の事象に合わせて制定されてきた規程、規則、細則、指針を項目ごとに再整理したものであることを付記します。日本老年歯科医学会規程は本学会の憲法でもありません。今後とも指摘や改善を加える必要もあろうかと思いますが、各種委員会に限らず会員の皆様からのご意見やご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

### 倫理審査委員会

委員長 森戸光彦  
委員 細矢哲康(副委員長), 松山美和, 野村修一,  
藤沼 聡(外部委員), 大渡凡人(幹事併任)

6 名の委員で構成され、複数回の委員会を開催しました。大学では随分前から倫理審査を行っていたこともあり、それぞれの対応を検討し、日本歯科医学会からのアドバイスをベースに「倫理審査規程」を作成しました。規程委員会と理事会での承認を得て実施にいたっております。大学や病院あるいは研究機関内で開催されている倫理審査委員会で承認を得ているものは、学会での承認は必要ありません。したがって、学会での倫理審査の対象となるのは、所属機関に倫理審査委員会がない会員です。たとえば、開業している歯科医師や歯科衛生士の方々です。また、学会として補助金を受託して研究を行う場合は、研究分担者や研究協力者が行う研究(実験を含む)機関での審査と学会での審査の両方が必要になる場合があります。

学会雑誌や学会発表における論文、ポスター、オーラルなどすべてが対象となります。臨床報告や調査報告も例外ではありません。研究を企画した段階で申請をしていただかなくてはなりませんので、十分に注意してください。要件を満たすまで受理できませんが、極力プラスの方向で検討する委員会ですので、ぜひ前向きに利用していただければと思います。受理されれば、承認番号が交付されます。論文やポスターの末尾やスライドの標題部分に、その旨記載していただくこととなります。

初めての方は、ハードルが高く感じるかもしれませんが、慣れていただければと思います。世に報告する者の義務として位置付けられていますので、十分な理解と対応をお願い致します。

## 支 | 部 | だ | よ | り |

一般社団法人日本老年歯科医学会東海3  
県合同支部会主催 講演会およびシンポ  
ジウムの報告

岐阜副支部長 玄 景華

平成 27 年 12 月 13 日 (日) の午後、朝日大学歯学部講義室を会場に、東海3県合同支部会主催の講演会およびシンポジウムを開催しました。今回のテーマは「地域における高齢者歯科医療を考える」として、本格的な超高齢社会を迎えて地域における高齢者歯科医療の課題や方向性について議論しました。特別講演として本学会理事長の櫻井 薫先生（東京歯科大学教授）に、「超高齢社会における日本老年歯科医学会の役割と進むべき道」というタイトルでお話しいただきました。愛知支部長の角 保徳先生（国立長寿医療研究センター歯科口腔先進医療開発センター長）には、「地域における高齢者歯科医療の役割と課題」というタイトルで基調講演をいただきました。その後、シンポジウムのテーマを「東海3県における高齢者歯科医療の実態と課題」として、座長に角先生と三重支部長代行の金森大輔先生（藤田保健衛生大学七栗サナトリウム歯科）が担当され、シンポジストの小川直孝先生（愛知県歯科医師会常務理事）、萩谷勅信先生（岐阜県歯科医師会理事）、羽根司人先生（三重県歯科医師会常務理事）にそれぞれの地域の実情と課題をお話

しいいただきました。最後に岐阜支部長の高井良招先生（朝日大学教授）より閉会の辞があり、実り多い支部会講演会とシンポジウムとなりました。



## 支部セミナーのご案内

## 北海道支部主催セミナー

## 「第 15 回北海道口腔ケアセミナー」

会 期：平成 28 年 5 月 7 日 (土) 12:00 ~ 16:40

会 場：北海道自治労会館（北海道）

内容・講師（敬称略）

「オーラルフレイル」

平野浩彦（東京都健康長寿医療センター研究所 副部長）

「認知症高齢者の食支援」

山田律子（北海道医療大学看護福祉学部 教授）

「地域の食支援」

萩原亜津子（はぎわら歯科クリニック マネージャー）

連絡先：北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座

高齢者歯科学教室

TEL・FAX 011-706-4582

## 奈良支部共催セミナー

## 「第 3 回在宅療養支援歯科診療所の施設基準講習会」

会 期：平成 28 年 5 月 8 日 (日) 10:00 ~ 12:00

会 場：奈良県歯科医師会館（奈良）

テーマ：要介護高齢者における食支援

内容・講師（敬称略）

「食べることが困難になった高齢者に歯科は何ができるのか？」

菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 教授）

連絡先：奈良県歯科医師会事務局

TEL 0742-33-0861 FAX 0742-34-1279



## 愛知支部共催セミナー

### 「東海オーラルマネジメント研究会」

会 期：平成 28 年 5 月 22 日（日）14:00～16:30

会 場：ウインクあいち小ホール（愛知）

テーマ：口腔ケアと摂食嚥下の普及に向けた取り組み

内容・講師（敬称略）

「東海 OM 研究会設立の目的について」

松尾浩一郎（藤田保健衛生大学医学部歯科 教授）

「長野県全体を巻き込んだ口腔管理の普及に向けた取り組み」

栗田 浩（信州大学医学部歯科口腔外科 教授）

「口腔ケアと摂食嚥下のチームアプローチ—上手な多職種連携の取り方—」

三鬼達人（藤田保健衛生大学病院脳神経外科病棟  
看護長）

連絡先：藤田保健衛生大学医学部歯科教室内 東海オーラルマネジメント研究会事務局

TEL 0562-93-2000（代表） FAX 0562-93-9098

## 学 会 だ よ り

### 基礎から臨床まで老年歯科医学に関わる用語を 網羅・解説した学会編集による用語辞典

『老年歯科医学用語辞典 第2版』が発刊されました

学会員の先生方には、学会誌第 30 巻第 4 号をお送りした際に同封させていただいております。非会員の方の購入方法などの詳細は、医歯薬出版株式会社ホームページ

(<http://www.ishiyaku.co.jp/search/details.aspx?bookcode=457930>) をご覧ください。



#### <本書の特徴>

- 一般社団法人日本老年歯科医学会編集による、わが国で唯一の老年歯科医学用語辞典。最新のデータ、知見をもとに、重要な用語をわかりやすく解説。すべての用語に英語表記を付与し、歯科英和辞典、歯科和英辞典としても活用できます。
- 摂食嚥下、口腔衛生、保存、補綴、栄養、全身疾患、法律、行政など、基礎から臨床、隣接領域まで、老年歯科医学に関わる 1,078 語を収載。歯科関係者のみならず、保健・医療・福祉関係の方々にも幅広くご利用いただけます。
- 第 2 版では、初版を全面的に見直し、最新の用語に関

してもフォローし、約 200 語を追加しました。

- 見やすく使いやすい 2 色刷の紙面構成です。

### 第27回学術大会 認定制度委員会 指定研修該当プログラムのご案内

下記の演題は、新規申請予定者の学術大会および指定研修への参加回数にカウントされ、認定資格者の更新単位加算になります。ID カードを携帯し、ご参加ください。

■学術大会参加 5 単位（更新時）

■認定制度委員会指定研修該当プログラム  
各 4 単位（更新時）

6月18日（土）

- ・特別講演「摂食嚥下の機能と障害」
- ・シンポジウム1「口腔機能と全身機能低下、フレイルとの関係を考える」
- ・シンポジウム2「認知症高齢者の意思決定支援に関するエビデンスを考える」

6月19日（日）

- ・教育講演「高齢者の栄養」
- ・特別企画2「高齢者が生き生き生活するために」
- ・日・台老年歯科医学会 合同シンポジウム「高齢者の食べる機能と認知症を考える」

### 編集後記

2030年には、日本の人口の1/3を高齢者が占めるという世界のいかなる国も経験したことがない超高齢社会が訪れます。この変化に対して「健康寿命の延伸」「摂食機能障害を含む在宅医療」「認知症の人に対する食支援」が多職種連携のもとに、歯科が必須な役割を担うこととなります。第27回学術大会でも、このような内容が多く含まれています。ぜひ、徳島の地に足を運んでいただけると幸甚です。

（大石善也）



発行人 櫻井 薫

編 集 （一社）日本老年歯科医学会広報・研修委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

駒込TSビル （一財）口腔保健協会内

電 話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341